

前橋市公共施設等総合管理計画(改訂版)【概要版】

平成27年8月 策定
令和4年12月 改訂
前橋市財務部資産経営課

改訂の目的

公共施設等の全体の状況を改めて把握し、長期的な視点で、長寿命化・更新・統廃合などを計画的に行い、財政負担の軽減化、適切な行政サービス提供等を目指す。

計画対象とする範囲

本計画の対象とする公共施設等は、公共建築物及び道路・橋りょう・上下水道施設等のインフラ資産も含めた、市が保有する全ての土地、建物、設備とする。

計画期間

本計画の対象期間は、2015年度から2054年度までの40年間とする。今回の改訂後は、概ね5年程度で見直しを行うものとする。

現状と課題

①公共建築物、保有土地

- ◆保有状況 …建物139万9千㎡、土地1,184万9千㎡
- ◆老朽化の状況 …築30年以上経過した建物が全体の約6割を占めている
- ◆低・未利用地の保有 …保有することで管理コストが必要

②道路・橋りょう

- ◆保有状況 …道路延長3,966km、橋りょう面積11.3万㎡
- ◆維持・更新状況 …道路調査車による健全度の把握、既定の長寿命化計画による計画修繕を実施
- ◆防災対応 …各種防災、減災対策を講じている。

③上水道

- ◆保有状況 …上水道施設113施設、水道管延長2,588km
- ◆維持・更新状況 …築30年以上の経年化施設が8割近く
- ◆利用・運営状況 …人口減や節水機器普及により、水道使用量は減少傾向

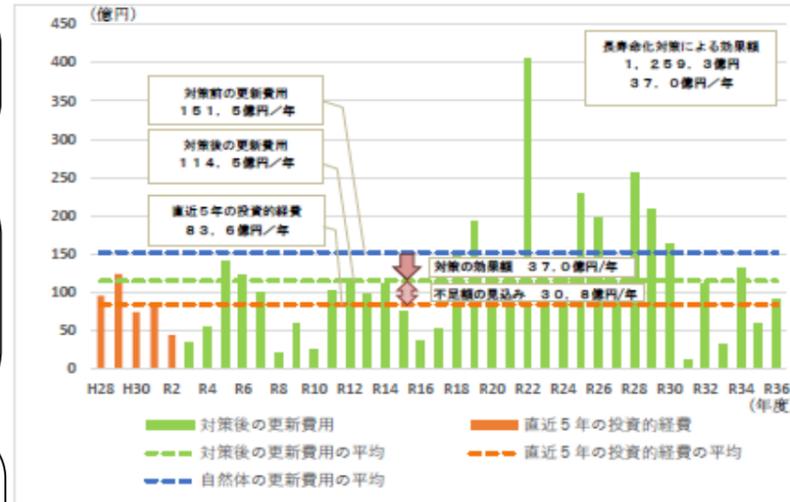
④下水道

- ◆保有状況 …下水道施設37施設、下水管延長1,933km
- ◆汚水処理普及率 …人口普及率は94.3%で全国平均を上回る
- ◆維持・更新状況 …リスク評価による優先度判定により修繕等を実施。今後は施設の多くが耐用年数を迎える。
- ◆利用・運営状況 …人口減や節水機器普及により、汚水処理量は減少傾向

将来の更新費用推計(公共建築物)

現状と課題の整理を目的として、総務省の示す算定方法により、現状の施設規模や施設数を維持するなど一定の条件のもとで、令和3年度から令和36年度の今後34年間に築50年で更新する場合の費用推計と施設の長寿命化により築65年で更新する場合を比較し、長寿命化対策の効果額を算出した。

【将来の更新費用の推計(長寿命化対策):公共施設】



これまでの取組実績

- ①公共建築物
 - ・予防保全計画推進プログラムによる施設の長寿命化
 - ・施設の複合化・集約化による保有総量の縮減
 - ・サウンディング型市場調査による民間による効率的利活用
- ②保有土地
 - ・未利用地の積極的な売却や貸付
- ③インフラ資産
 - ・道路や橋りょうの調査・点検による計画的な修繕
 - ・上水道施設の機能統合やダウンサイジングの推進
 - ・下水道施設の優先順位付けによる修繕等を実施

サウンディング型市場調査実績例

| 調査年度 | 公募年度 | 施設 | 活用内容 |
|------|------|-----------|-----------------|
| H27 | H27 | 旧嶺小学校 | 体験型の英語学習施設 |
| H28 | H29 | 旧粕川保健センター | 地域貢献型コンビニエンスストア |
| R2 | R3 | 旧中央小学校 | 教育福祉施設 |

今後の方針(全体)

- ◆基本的な考え方
 - 具体的なデータによる資産分析、評価を行ったうえ、全庁横断的・中長期的な視点から、総合的なマネジメントに取り組み、『供給(量)』『品質(質)』『財務(コスト)』面から資産の最適化を図る。
- ◆資産活用の方向性
 - ・長寿命化の推進
 - ・保有総量の縮減
 - ・効率的利活用の推進
- ◆全庁的な取組体制
 - 全庁横断的な機関である資産利活用推進委員会で資産の有効活用の協議、方針の決定を行い、全庁的な取組を実施する。

今後の方針(分野別)

①公共建築物、保有土地

- ◆資産活用の手順
 - STEP1からSTEP6の基本的なサイクルにより、資産活用の推進を行う。
- ◆マネジメントサイクルの推進 (STEP5:個別具体的な活用の実践)
 - ・予防保全計画推進プログラムによる長寿命化の推進
 - ・複合化・集約化や公共事業評価制度による施設総量の縮減
 - ・施設の効率的な運営方法の検討や用途廃止施設の効率的利活用

②道路・橋りょう

- ◆維持管理
 - 予防保全型の維持管理を進め、中長期的にコスト縮減、平準化を図り、全体の優先順位による更新を行い、適正な維持管理を図る。
- ◆長寿命化
 - 構造物の長寿命化によりライフサイクルコストの縮減を図り、集約化や新技術等の活用を検討し、長寿命化修繕計画による計画的な修繕を図る。

③上水道

- ◆維持管理と更新
 - アセットマネジメントに取り組み、水道ビジョンなどによる予防保全的な観点から維持管理、耐震性の改善による災害リスクを抑制し、更新については、統廃合やダウンサイジングを検討・実施を行う。
- ◆長寿命化
 - 施設や管路の老朽度を把握し、状態に応じた長寿命化や更新に取り組むとともに、管路更新に耐震管を使用し、耐震化や長寿命化を図る。

④下水道

- ◆維持管理
 - アセットマネジメントに取り組み、下水道ビジョンなどによる計画的な施設更新等や関係部署との連携を図りながら効率的な汚水処理事業を進める。
- ◆長寿命化
 - 下水道長寿命化計画などにより、管路等の状況の判断を適切に実施し、管路・処理場・ポンプ場などの長寿命化に取り組む。